

会 議 録

会議名 (審議会等名)		令和2年度 第4回横山地区まちづくり会議		
事務局 (担当課)		中央区役所地域振興課本庁地域まちづくりセンター 電話042-707-7049 (直通)		
開催日時		令和2年10月19日(月) 19時30分～21時15分		
開催場所		横山公民館 1階 大会議室		
出席者	委員	15人(別紙のとおり)		
	その他			
	事務局	2人(本庁地域まちづくりセンター 所長、副主幹)		
公開の可否		<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 一部不可	傍聴者数	0人
公開不可・一部不可の場合は、その理由				
会議次第		<p>1 開 会</p> <p>2 議 題</p> <p>(1) 現状における横山地区事業への取り組み等について ～「新しい生活様式」の中、地区としての対応について～ ＜グループ討議の意見検討＞</p> <p>① 増設される風水害等避難場所など災害対策への地域の 関わりについて</p> <p>② 地域団体の事業活動への取り組み方について</p> <p>(2) 令和2年度地区まちづくりを考える懇談会について</p> <p>(3) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移動販売の開始について ・交通危険個所について ・地域活性化事業交付金について <p>3 閉 会</p>		

議 経 過

主な内容は次のとおり。(○は委員の発言、●は事務局の発言)

1 開 会

吉田会長あいさつ。

2 議 題

(1) 現状における横山地区事業への取り組み等について

前回のまちづくり会議では、「新しい生活様式」の中、地区として対応していくテーマ1「増設される風水害等避難場所など災害対策への地域の関わりについて」とテーマ2「地域団体の事業活動への取り組み方について」の2つのテーマについて議論を深めていくことになり、これらテーマの意見をカテゴリー別に分類した一覧表を基に事務局が説明後、委員の話し合いが行われた。

○運動会やこどもフェスティバルなど1,000人以上が参加する行事では、密になることは避けられない。地区ごとに分割して少人数で行うことも難しく、「新しい生活様式」が求められている中、企画運営について何かアイデアが必要である。

○どんど焼きも、密になるため地区連自治会長会議で中止となったが、何かアイデアがあれば実施できたのではないか。

○アイデアを皆に諮って、それならやろう参加しようということで初めて実施となる。地区連自治会長会議で無理やり背中を押して参加させるとなるとネガティブな方向、やらされ感が生じる。行事として楽しいとか開催して良かったと主催者側も参加者側も思わなければ意味がない。ましてどんど焼きの本来の姿を簡素化してはもともこもない。気持ちとしては実施したいが現状では残念であるが中止の判断をさせていただいた。

○災害助け合いの「三軒組」の設定設置について、自治会加入に関わらず近隣の助け合いが大切となってくる。「三軒組」の組織が具体的に必要である。マンション、一戸建てにかかわらず、相模原市は災害の経験が少ない中で実感がわからない面もあるが3軒隣組を早く設置する感覚をぜひ持っていただきたい。

○横山公民館で防災マイスターによる講習を開催してもらいたい。第1歩として資格を取る講習を受けることが必要である。

○子どもの安全標識のペンキがはげていたり、欠損したりしているので、実際に見ていただいて、把握していただき早く整備を促していきたい。

○すべての意見を議論するのは、散漫になる。仕組み作りとしてきちんと取り組

まなければいけないことは、災害時の対応であると思う。1のテーマについて重点的に検討したほうが良いのではないか。

○検討するテーマを1つに絞り込む必要があるのではないか。

会長から各委員へ今後検討していくテーマを諮った結果、テーマ1の「増設される風水害等の避難場所など災害対策への地域の関わりについて」の防災対策に関することが多数により了承された。

○具体的に考えるのは1のテーマだが、2のテーマについても横山地区独自の避難対策をたてる上で必要ではないか。避難所も増設されたが密にならない方策を全体のしくみの中で市は検討している。地域としても住んでいる人の目線で「新しい生活様式」に合わせた避難対策を準備しなければならない。

○テーマ1は優先して議論していただくとして、避難所のあり方として台風19号からちょうど1年経つが、次の想定される災害に備えることも重要である。方向性が決まっていけば次の活動を決めていくステップへ進むのではないか。1のテーマがまとまれば次のステップとして2のテーマへ進んでいけばよいではないか。

○避難所の在り方について、行政から盛んにマニュアルに従った運営が求められているが、3密を避けるため横山小学校避難所運営協議会では、校舎を災害時に開放していただけないか横山小学校と相談し、特別教室を開けていただくことになった。ペットをかごに入れて管理する場所もお借りできた。

○実際には、横山公民館に避難してきた方は他地域の方もいた。

○他の地区での取り組みを聞いてみたら小山地区では境川が増水する恐れが今でもあるが、ユーチューブで可視化できるよう動いている。増水状況が画面をクリックすればわかるよう「新しい生活様式」に合わせた発信方法も検討されている。防災対策は発信が大切。発信がないと何も進まない。

○市でも感染症対策物品の配備をすすめていただいているが、何が不足物品であるかなど意見が出やすい環境づくりも必要である。1のテーマに絞り込みながら今後のまちづくり会議で検討していければと思う。

(2) 令和2年度地区まちづくりを考える懇談会について

事務局より、令和2年度地区まちづくりを考える懇談会実施要領に基づき、懇談内容や出席者等について説明し、2月8日の実施に向けたスケジュールを周知した。

(3) その他

○移動販売について、横山地区では10月1日から開始された。新型コロナウイルス

ス対策としてイオンでは売り場に消毒液を用意し、毎日使用するカゴも消毒している。固定客化も進み要望に応じた品や時季の商品を揃えている。小町通りこども広場では清新地区からも買い物客が来ている。

- 相模原警察署から地区自治会連合会へ交通危険箇所を取りまとめ、報告してほしいという依頼があった。子ども会や見廻りをしている団体、自治会長会議でも交通危険箇所を挙げていただくようお願いした。これからも継続的に取組み情報を集めて地域で共有していきたい。すでに、2件、小町通り交差点の横断歩道の形態や電柱の位置、横山小学校そばのコンビニエンスストア交差点の歩道について要請している。

3 閉 会

末永副会長あいさつ。

以 上

令和2年度横山地区まちづくり会議委員名簿

	団 体 等	氏 名	備 考	出欠
1	横山地区自治会連合会	吉 田 貴 亮	会 長	出席
2	横山地区自治会連合会	坂 元 俊 美		出席
3	横山地区社会福祉協議会	高 橋 年 廣	副会長	出席
4	横山地区社会福祉協議会	森 きん子		出席
5	横山地区連合自主防災隊	岩 瀬 弘 明		欠席
6	横山地区連合自主防災隊	吉 村 公 一		出席
7	横山地区民生委員児童委員協議会	佐 賀 淳 司		出席
8	横山公民館	末 永 暁 子	副会長	出席
9	横山地区老人クラブ連合会	長 沼 幸 江		欠席
10	相模原交通安全協会横山支部	茅 祐 司		出席
11	ボランティア横山	石 川 恭 子		出席
12	横山小学校 PTA	松 岡 史 朗		欠席
13	清新中学校 PTA	田 辺 大 輔		欠席
14	横山地区青少年健全育成協議会	北 川 春 恵		出席
15	青少年指導員	太 田 ゆかり		欠席
16	スポーツ推進委員	大 澤 千津子		欠席
17	男性ボランティア横山ゼロツウ/テン	富 田 保 男		出席
18	防犯指導員	小 暮 勝大		出席
19	健康づくり普及員	芦 野 まさ子		出席
20	保護司	山 石 三 男		出席
21	横山こどもセンター	志 村 勝 巳		欠席
22	横山高齢者支援センター	杉 田 久美子		出席